

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和4年度】

2023年 3月 24日

東京都福祉サービス評価推進機構  
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 176-0001

所在地 東京都練馬区練馬1-20-2

評価機関名 株式会社日本生活介護

認証評価機関番号

機構 02 - 015

電話番号 03-3991-8440

代表者氏名 佐藤 義夫

印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	山本 吉士郎	経営	H1201029
	②	堀 洋子	福祉	H0701024
	③	岩波 よし子	福祉	H1801054
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	東麻布保育園			
事業所連絡先	〒	106-0044		
	所在地	東京都港区東麻布2-1-1		
	TEL	03-3584-3811		
事業所代表者氏名	園長 入船 益夫			
契約日	2022年 6月 13日			
利用者調査票配付日(実施日)	2022年 8月 29日			
利用者調査結果報告日	2022年 11月 3日			
自己評価の調査票配付日	2022年 8月 26日			
自己評価結果報告日	2022年 11月 3日			
訪問調査日	2022年 11月 16日			
評価合議日	2022年 11月 16日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	利用者調査は、Webによるアンケート調査を行った。またWebでの回答が難しい保護者については、紙面のアンケートを配布し、記入後は返信用封筒に入れ、直接評価機関へ郵送してもらった。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。

本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

2023年 3月 24日

事業者代表者氏名 麻布地区総合支所管理課長 櫻庭 靖之 印

1	<p><b>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</b></p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述                  （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>1)地域や保護者と協同して育つ権利を保障し、主体的な子ども集団の中で育ちあう関係づくりを大事にする                  2)一人ひとりの個性に寄り添い、子どもの気持ちを大事にした保育を展開する                  3)大規模園の良さを生かし、異年齢保育の中で子ども同士のあそび文化の伝え合い、思いやりや憧れを大事にする                  4)行事を通して保護者との共育ちを様々な面から推し進めながら、保育園を心の故郷として感じてもらう                  5)地域の様々な人たちのまなざしの中で子どもらしさを思いっきり出し、地域の中で安心して育つようにする</p>
2	<p><b>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</b></p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>子どもの人権を守ることを第一に考え、実践している。子どもも職員同士も多様性を認め合い、コミュニケーションを大切に                  する。                  常にスキルアップを目指すとともに、子どもたちのエピソードを語り合い、共有・共感できる職員。語り合う中で自らの仕事への                  意欲と誇りを高めていく。新鮮な気持ちで研修に参加し、フィードバックに心がけ、学んだことを共有する。</p> <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>子どもの人権・多様性を認め合い、何事にも冷静に対応し、気付きを大切にすること。</p>

調査対象	全園児世帯の保護者を対象とした。複数の在園児がいる場合は、最年少の子どもに対しての回答をお願いした。		
調査方法	Webによるアンケート調査は、QRコードを記載した案内文を配布し、回答が直接評価機関に届くようにした。また、Webでの回答が難しい保護者については、紙面のアンケートを配布し、記入後は返信用封筒に入れ、直接評価機関へ郵送してもらった。		
利用者総数	137		
利用者家族総数(世帯)	109		
共通評価項目による調査対象者数	109		
共通評価項目による調査の有効回答者数	63		
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	57.8		

**利用者調査全体のコメント**

調査対象109世帯のうち、63世帯から回答を得ることができた。満足度の高い項目として、「保育所の活動は、子どもの心身の発達に役立っていますか」「提供される食事は、子どもの状況に配慮されていますか」「病気やけがをした際の職員の対応は信頼できますか」「保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっていきますか」「子どもの気持ちを尊重した対応がされていますか」などがあげられる。  
 総合的な満足度では、60世帯が「大変満足、満足」、2世帯が「どちらともいえない」、1世帯が「不満」と回答している。「毎日子どもが通園を楽しみにしています」「園が広く子どもがのびのびと育っています」「先生方の対応が素晴らしく信頼しています」「子ども同士の交流や運動などの機会を増やしてほしいです」などのコメントがあがっている。

**利用者調査結果**

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	61	1	0	1
61名が「はい」、1名が「どちらともいえない」、と回答している。 「保育園に行くと成長が見られました」「保育園での先生やお友達、上の学年の子どもたちとの関わりによって、成長を感じます」「のびのびと子どもらしく育っているなど感じます」などのコメントがあがっている。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっていくか	54	8	0	1
54名が「はい」、8名が「どちらともいえない」、と回答している。 「先生に絵を描いてもらい嬉しそうに持ち帰ったり、カードゲームの練習をしたり、園での事をたくさん教えてください」「遊びをたくさん覚えています」「家ではできない経験を積んでいます」などのコメントがあがっている。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	60	2	0	1
60名が「はい」、2名が「どちらともいえない」、と回答している。 「子どもの好き嫌いまで把握していて感動しました」「食育まで意識していることや、誕生日メニューの特別感、季節の果物も本当にありがたいです」「食事の栄養バランスがよく助かっています」「毎日完食しているようです」などのコメントがあがっている。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	46	14	2	1
46名が「はい」、14名が「どちらともいえない」、2名が「いいえ」、と回答している。 「コロナで機会は減りましたが、工夫して対応してくれています」「コロナ禍で行事の数減りましたが、先生方はとても頑張っていると思います」「園庭やペランダ、ピロティがあることで地域との関わりがあることが素晴らしいです」「コロナ禍ですが、行事をもう少し多くやってほしいです」などのコメントがあがっている。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	45	3	1	14
45名が「はい」、3名が「どちらともいえない」、1名が「いいえ」、と回答している。 「柔軟な対応で助かっています」「当日の午後に残業が確定しても柔軟に対応してもらい感謝しています」などのコメントがあがっている。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	44	18	1	0
44名が「はい」、18名が「どちらともいえない」、1名が「いいえ」、と回答している。 「朝と夕に玄関に職員が立っており心強いです」「先生たちの目が常に子どもに届いているように感じます」「門が解放されている時間帯は部外者が入りそうで心配です」などのコメントがあがっている。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	41	11	5	6
41名が「はい」、11名が「どちらともいえない」、5名が「いいえ」、と回答している。 「事前に念入りにお知らせしてくれるので助かります」「1ヶ月前には行事のお知らせをしてほしいです」などのコメントがあがっている。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	49	10	3	1
49名が「はい」、10名が「どちらともいえない」、3名が「いいえ」、と回答している。 「どの先生とも良い関係性が築けています」「担任や他の先生に話を聞いてもらってます」「とても話しやすい先生方です」などのコメントがあがっている。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	51	11	0	1
51名が「はい」、11名が「どちらともいえない」、と回答している。 「クラスターもなく消毒など気を使っていると思います」「おもちゃの消毒などしているのを見て安心しています」「エントランス前に手洗い場があり、コロナ対策になっていると思います」などのコメントがあがっている。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	52	10	1	0
52名が「はい」、10名が「どちらともいえない」、1名が「いいえ」、と回答している。 「個性のある先生方でとても良いと思います」「先生達ももっと個性を出すことで名前を覚えられると思います」「先生方はとても丁寧で信頼しています」などのコメントがあがっている。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	55	4	1	3
55名が「はい」、4名が「どちらともいえない」、1名が「いいえ」、と回答している。 「すぐ電話で連絡をくれるので助かります」などのコメントがあがっている。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	40	12	1	10
40名が「はい」、12名が「どちらともいえない」、1名が「いいえ」、と回答している。 「満足しています。力加減など知るためにもルールに則った相撲などの競技は必要だと思います」「子ども同士のいさかいまで見ている余裕がないと感じます」などのコメントがあがっている。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	54	8	0	1
54名が「はい」、8名が「どちらともいえない」、と回答している。 「子どもに対して真摯に対応しているのがありがたいです」「子どもに共感して対応してくれ、子どもも安心しています」「子ども達の気持ちを尊重していると感じています」などのコメントがあがっている。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	46	12	0	5
46名が「はい」、12名が「どちらともいえない」、と回答している。 特にコメントはありませんでした。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	49	11	2	1
49名が「はい」、11名が「どちらともいえない」、2名が「いいえ」、と回答している。 「毎日担任の先生からその日の様子を伝えてもらってます」「先生によって説明の度合の違うことがあります」などのコメントがあがっている。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	46	8	2	7
46名が「はい」、8名が「どちらともいえない」、2名が「いいえ」、と回答している。 「担任以外の先生方にも相談できました」「保育に関しては非常によくしてもらっていますが、コロナ対策に疑問を感じます」などのコメントがあがっている。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	20	19	9	15
20名が「はい」、19名が「どちらともいえない」、9名が「いいえ」、と回答している。 「知りませんでした」「相談をしたいことがありますが、相談先がわかりません」などのコメントがあがっている。				

## I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している	評点(〇〇)
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	評点(〇〇)
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している	評点(〇〇〇)
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている
	カテゴリ1の講評	
	<p>保育理念「築き合う」「支え合う」「広げ合う」を掲げて、保育運営を行っている</p> <p>東麻布保育園は区立認可保育園として指定管理者「特定非営利活動法人 ワーカーズコープ」が運営している。園として、保育理念及び保育方針・目標を定めて日々の保育を行っている。職員には保育姿勢を明示して、年度当初の説明会、定期的な会議、および掲示によって周知を図っている。また、新入職員、中途入社職員には入職時の研修によって説明している。保護者には入園説明会で配布する「入園のしおり」によって、園の考え方を説明すると同時にホームページ、園だより、園内掲示等で知らせている。</p> <p>園長は組織のリーダーとして先頭に立ってその役割を発揮している</p> <p>園長は、常に港区及び法人本部の方針を念頭に置き、園運営の先頭に立って役割を発揮している。当園は在園児にはスターライト保育を実施し、指定園として休日保育、年末保育を行っているため、職員配置に配慮をし、職務分担の決定には個々の希望や特性を把握して、責任者会議で検討の上決定している。職員の育成には法人本部と連携して計画的な育成に配慮している。同時に年度計画や各プロジェクトの推進を統括し、当施設が港区の複合施設であることから、地域との交流や保護者支援、子育て家庭の支援を推進している。</p> <p>重要な案件について、審議したり、決定したりする手順は決められている</p> <p>園内での会議体系は職員に周知されており、責任者会議において重要な決定事項を起案して、職員会議において検討している。また、場合によって乳児会議・幼児会議やクラス会議で充分検討する場合もある。なお、決定すべき事項が法人の運営に関わる場合は、法人本部に上げて理事会に諮っている。同様に港区からの通知も園長を通じて、職員や場合によっては保護者に知らせている。利用者(保護者)に関わる案件は、手紙・園だより・掲示・保護者会などで伝え、決定に至った背景についても説明している。</p>	

2 カテゴリー2		
事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリ1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当
サブカテゴリ2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当
カテゴリー2の講評		
<p>事業運営のニーズを捉えるため、園内外を取り巻く情報を把握して課題を見出している</p> <p>保護者には各行事終了後にアンケートをお願いし、ニーズを把握している。また、保護者との面談、保護者会での意向を誠実に受け止めている。職員にはヒアリングや意向調査によって意見を収集し、会議などで意見を発言しやすい雰囲気をつくっている。また、地域の行事や各会議への参加を通じて情報の収集に努めている。当園は区立保育園であるため区担当部門との定期的な会議を行い、運営上の助言を受けている。また、改善する点は課題として共有している。このように園を取り巻くさまざまな情報を集めて、園の運営に活かしている。</p> <p>事業計画書を作成して、年度ごとの事業方針を決定している</p> <p>港区が策定する「地域保健福祉計画」の中期的な指針と、法人の「指定管理契約書」を盛り込んで、年度事業計画書を作成している。事業計画書には全体的な計画、保健計画等と行事予定を盛り込んでいく。本年度の園運営の骨子として保育定員・職員体制が記述されている。同時に、「入園のしおり」は年度ごとに改訂し、職員に周知し、共有した上で、入園説明会において重要事項を説明・確認した上で保護者に配布して、子どもの在園期間中は保管するようお願いしている。</p> <p>着実な計画の実行に向けて、各クラス、行事担当者が計画を立案し、全員で共有している</p> <p>年齢ごとの、指導計画の作成には、「保育所保育指針」や「全体的な計画」に則って作成している。その際に、クラスリーダーや乳幼児リーダーを中心に各専門職の意見を取り入れて子どもたちの実態と発達を盛り込んだ案を作成している。これを、責任者会議で十分に検討して職員会議で、共有している。また、期、月、週単位での進捗管理を行い着実な実行を確認している。行事・避難訓練等の計画は前年の反省を踏まえて担当者が実行案を作成して、必要予算や職員の負荷を検討の上決定している。進行状況は、責任者会議の議題に上げて認識を共有している。</p>		

3 経営における社会的責任		
サブカテゴリー1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		<b>サブカテゴリー毎の標準項目実施状況</b> 2/2
<b>評価項目1</b> 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる		<b>評点(〇〇)</b>
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	
		<input type="radio"/> 非該当
		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		<b>サブカテゴリー毎の標準項目実施状況</b> 4/4
<b>評価項目1</b> 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている		<b>評点(〇〇)</b>
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	
		<input type="radio"/> 非該当
		<input type="radio"/> 非該当
<b>評価項目2</b> 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている		<b>評点(〇〇)</b>
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	
		<input type="radio"/> 非該当
		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		<b>サブカテゴリー毎の標準項目実施状況</b> 5/5
<b>評価項目1</b> 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる		<b>評点(〇〇)</b>
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	
		<input type="radio"/> 非該当
		<input type="radio"/> 非該当
<b>評価項目2</b> 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		<b>評点(〇〇〇)</b>
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	
		<input type="radio"/> 非該当
		<input type="radio"/> 非該当
		<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー3の講評

児童福祉事業で働くために必要な規範を知るため、こどもの権利条約などを学んでいる

職員が福祉サービス事業に従事するための規範は、「子どもの権利条約」や「保育所保育指針」の資料を職員に配布して、職員会議の議題に入れて継続的に学んでいる。また、港区における指定管理者制度の下で当園を運営している。そのため、事業者の主旨に則って、「労働環境モニタリング」を実施して安定的なサービスを提供するための指標を確認し、整備している。また、法人内の他の事業者による相互監査を行い、法人としてのサービス品質の確保をねらっている。

こどもの気持ちを傷つける言動を防ぐため、保育指導チェック表を使っている

子どもの人格、人権を尊重し、言動には十分注意するよう、職員は保育指導チェック表を使用して個々に振り返りを行っている。また、「保育者支援協会」から指導員の派遣を受けて、環境構成などの助言を受けている。また、子どもが虐待を受けていないかを、朝の登園時の視診、着替え時チェックや普段の態度の観察等によりその疑いの発見に努めている。その場合は速やかに外部機関に相談できる体制を整えている。また、必要に応じて保護者との面談を行い、疑わしい事例の早期発見に努めている。

誰ひとりとり残さない社会の実現に向けて地域の子育ての応援に取り組んでいる

港区が提唱するSDGsの取り組み「地域の絆で誰ひとりとり残さない社会を実現するために」の一翼を担うため、地域との交流に力を入れている。当園は歴史のある小学校の跡地に建てられたため、地域の方々の想いがある。施設を利用した地域の行事や総合防災訓練・防犯訓練などに積極的に参加している。また、学童クラブとの連携や子育て支援のため、当園の専門知識を生かしている。この間、コロナ禍によって活動が縮小されているため収束後はもとの活気に満ちた活動に戻れることを期待している。

4 カテゴリー4		
リスクマネジメント		
サブカテゴリー1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(00000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当
サブカテゴリー2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリー4の講評		
<p>「安心・安全」を実践するため、リスクマネジメントに取り組んでいる</p> <p>当園は高台に立地しており、ハザードマップ上の危険は無いが、周辺の道路は狭く登降園や園外保育時での事故に対して注意喚起をしている。また、突発的に起こる「安心・安全」を妨げる溺水・誤飲・誤嚥・アナフィラキシー・熱性けいれん等の理解と、対応のため、全員が訓練を受けている。また、アレルギー対応、感染症対応、嘔吐処理、救急対応の研修を全員に義務付けている。また、年間計画として避難訓練等を行い、地震・火災・不審者侵入などに備えている。感染症に対しては、保健所と連携の下その指示に従って対応をしている。</p> <p>東京都・港区の定めるBCPに準拠して、大規模災害に備えて対応できるようにしている</p> <p>大規模災害(新型コロナ感染症も含む)に直面した場合にむけて、事業継続計画(BCP)は東京都及び港区が定めている。災害時の限られた人的資源で、優先的に行うべき都民、区民サービスの提供・継続と、最短期間で平常の業務体制に戻ることを目的としている。当園は、区立保育園としてBCPの基準に準拠した業務を行えるよう体制を整えている。園独自のBCPは定めていないが、災害発生時等には港区の出先機関である支所の指導の下で対応を図れるように訓練を行っている。</p> <p>個人情報の保護について職員に周知し、保護者には重要事項として説明している</p> <p>個人情報保護に関して、規定を定め職員会議等で継続的に学習している。また個人情報を含む文書類の保管方法及び電子データ類は規定に従って運用している。保護者には、入園時に重要事項として、園が保育を提供するために知り得た情報に関して職員に守秘義務を課し、誓約を得ている事を説明している。それらの情報を外部の公共機関等に提供する際のルール及びパンフレットやホームページなどに掲載するために児童の写真等を使用する場合には保護者の同意を得ている。また、行事等での撮影に関して制限事項を設けて了解を得ている。</p>		

5 カテゴリー5		
職員と組織の能力向上		
サブカテゴリー1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	○非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当
サブカテゴリー2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当

カテゴリー5の講評

**職員の採用は本部の協力の下、園が行い、学校訪問や求人サイトを利用している**

当園は現在の運営になってから約5年が経過し、多世代の職務経験者で構成されている。職員を補充する際は、求人サイトや就職フェアへの参加、学校訪問、ホームページを利用して情報を収集し、応募に結び付けている。また法人からの人事異動も行っている。応募者には、法人の考え方である「多様な働き方を実現し、地域の課題に取り組む」姿勢について話し、当園の職員としての意義を強調している。同時に、多彩な研修計画を説明し、キャリアアップにつながる仕組みを説明している。

**年度当初の職員会議で、任務分担・クラス構成を確認して各職員の役割を定めている**

事業所として長期的な展望に立った人材育成の方針を明確にして、各職員がそれぞれ目標を持ってキャリアプランを持てるようにしている。年度当初には園内での任務分担・クラス構成を決めて各職員の役割を伝えている。管理層は職員と面談を行い、年度の目標や研修に関する要望を聞き、それぞれのキャリアアップへの要望に対して研修の受講計画をつくっている。また、自己研鑽への取り組みも推奨し、その結果資格の取得などで園の運営に役立つことをねらっている。さらに、さまざまな働き方を認めて、働きやすい職場を目指している。

**法人及び園は職場を働きやすい環境にするために様々な取り組みをしている**

当園は指定管理者制度導入施設による区立保育園として利用者の安心・安全の確保やサービスの維持・向上のため労働環境整備することが義務付けられている。そのための着眼点について常に気を配っている。また、職員が心身共に健康であるために、休暇・残業の管理、ストレスチェック研修を職員全員が受講、産業医によるアドバイスなどを行っている。会議ではなるべく多くの職員が発言できる取り組みや、日頃の気づきを発表しやすいようにエピソードを出し合うよう努めている。これらによって、職場の人間関係の向上など職場環境の向上につなげている。

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動	
サブカテゴリ1(7-1)	
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
<b>評価項目1</b> 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)	
前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)	
<b>【課題・目標】</b> 昨年度より、理念を実現するための重要課題として、三つをあげた。 ・経験年数の少ない職員に対して法令遵守を分かりやすく説明する。 ・安全・健康を優先した保育の実践。 ・職員一人ひとりが思いを出せるよう実践を通した雰囲気づくり。 <b>【理由・背景】</b> 以上の課題によって、当園での運営の基本となる理念・方針の実現に向けて原点に立ち返ることを目指すものである。 <b>【取り組み】</b> 目標に向けて、以下を行った。 ・経験の少ない職員に対して法令遵守や規範・倫理の周知のため、園内の会議の時間を割いてテーマを選んで勉強会を行った。 ・職員全員に対して、看護師が中心になって、心肺蘇生など想定される応急対応の訓練を実施した。 ・外部の講師を招聘して、保育実践の一部として日本の伝統遊び・マジック遊び・手あそび等を取り入れて子どもたちと楽しめる手段を学んだ。 <b>【取り組みの結果と検証】</b> 基本に立ち返る目標は一定の成果が得られ、その効果を測るため「自己評価チェックリスト」によって評価することとなった。さらに、子どもたちとの交流の輪を広げることができた。また、緊急時の対応方法の習得によって慌てない自信となった。	
目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていない
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評	
<b>【講評】</b> コロナ禍によって、子育てを取り巻く状況は変化したが保育そのものの意義は同じであり、当園が目指した三つの目標、法令遵守、安心安全、実践を通した雰囲気づくりは一定の成果をあげることができた。その結果、保育方針や、理念は徐々に浸透してきている。ただし、できるだけ日常的かつきめ細やかな話し合いの機会を増やし、個々の保育観をできるだけ一致させる努力が今後の課題となる。 <b>【評語に関して】</b> 今回選択したテーマは当園における保育の基本に振りかえる目的を実現する取り組みとして、PDCAのサイクルをまわすことができた。	

<p><b>評価項目2</b>  事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)</p>	
<p>前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)</p> <p>【課題・目標】取り組みの一つは、「地域の中でなくてはならない子育ての拠点」となるよう以下を取り組んだ。  ・地域と一体になった施設となる。  ・子どもの育ちを第一に考えられる施設としての発信。  ・食・環境を見通した持続可能な地域づくりへの貢献。  【理由・背景】地域で歴史ある施設の中での保育園として期待があり、それに応えるため、その取り組みが必要になった。  【取り組み】以下を実施しました。  ・施設見学に訪れた方に子育ての相談にのったり、卒園生の保護者からの相談にのったりした。  ・在園生の保護者が働きやすいよう、助言をしたり、行事への参加が単なる結果より、満足感が得られるように気配りをした。  ・持続可能な社会の実現に向けて、廃棄するものを集めて再生できるよう貢献し、子ども達にもその重要性を伝えた。  【取り組みの結果と検証】  園や法人の理念や方針が伝わり、日常的に子どもたちのエピソードを出し合う機会が多くなった。その結果コロナ禍を工夫した内容で、これまでの取り組みの継続によって地域との新たなつながりを構築するために、保育園と法人の理念・方針を具体的に発信する必要性を確認した。</p>	
<p>目標の設定と 取り組み</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</p>
<p>取り組みの検証</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</p> <p><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>
<p>検証結果の反映</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</p> <p><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>
<p>評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評</p> <p>地域の求める施設として、期待される役割を発揮するために、職員のもつ専門能力をもって役立つことを目指している。食・環境を見通した持続可能な地域づくりは、港区が提唱するSDGsの取り組みの具体的なテーマとして、副次的な効果となった。  【評語に関して】  地域との連携は、コロナ禍で後退したような状況になっているため、さまざまな工夫をして困難を乗り越えるための展開を目指している。</p>	

## II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ1の講評		
<p>園の様子や地理的環境がわかりやすいパンフレットを作成している</p> <p>園のパンフレットの表紙は、園の地理的特徴と合わせて園名がはっきりと写る写真になっている。色刷りで保育目標、保育理念、児童定数、年間行事が子どもらの写真とともに園情報として掲載されている。元小学校だったという特色を活かして、園の広さを強調されたものになっている。また保育の特色やお祭り、防災訓練など地域とのつながりも写真とともにアピールしている。運営法人に関しても説明がされており、園の情報量としては豊富である。パンフレットは、見学者に配付して説明資料として活用している。</p> <p>多くの人が見るといいう園のホームページは現在リニューアル中である</p> <p>園のホームページは業者に委託をして作成されている。保育目標や保育理念と共に、行事や給食献立などパンフレットより少ない写真と園だよりなど見られるようになっているが2015年以降更新されずにいる。当時保育室ブログもリニューアルしたが、ホームページ自体活用されているとは言い難い。今は多くの保護者がホームページを見たりブログの発信から園の最新状況を知る手立てとしている。園のホームページ担当者がうまく引継ぎされずに退職をしてしまいブログも使えないことから新たな業者にホームページの作成を依頼しているとのことである。</p> <p>毎月1回園の見学日を設けており、パンフレットに基づいた説明をしている</p> <p>園では毎月1回見学日を設けて、事前予約で受け付けて見学者名と子どもの年齢を確認して「施設見学者名簿」を作成している。1回に多くても10人前後の見学者にしている。子どもたちが遊んでいる10時半から、案内、質疑応答の時間を合わせて約1時間を充てている。毎回園長が案内役をしており、パンフレットを見学者に渡して園内を回りながら説明をしている。多い質問は、学習の時間はあるのか、入園に必要な物等で、あまり具体的なことはないという。1回の見学に10人を超えてしまう場合は、別に日を設定して2回に分散している。</p>		

サブカテゴリ-2		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	6/6
2	サービスの開始・終了時の対応		
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		○非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		○非該当
サブカテゴリ-2の講評			
<p>コロナ禍以降、感染予防のために入園説明会は個別に行っている</p> <p>全体的な入園説明会は新型コロナウイルス感染症の影響で行わず、区から入園の内定通知が届いた時点で園に電話をもらい、面接と子どもの健康診断の予約をしている。個別に面接をして、はじめに園長が入園のしおりのポイントである重要事項説明書に関する内容を説明したうえで、同意や署名をもらう書類について、例えば延長保育の希望の有無など概ね15分ほど聞き取っている。延長保育の申請や個人情報に関する同意書などは署名後に後日、園に持参をもらっている。同日、嘱託医が来園していれば子どもは健康診断を受けている。</p> <p>入園までの子ども、家庭の状況は担当保育士、看護師、栄養士が聞いている</p> <p>重要事項説明書及び契約等に関する説明の後に、担当保育士が、児童票に記載すべき内容、今までの子どもの生活の様子や家庭状況を聞きとっている。また入園に際しての持ち物、準備する内容を説明している。母子手帳を確認して子どもの予防接種や健康に関することを看護師が、食事やアレルギーに関しては栄養士がそれぞれ専門職として聞いて記録をしている。子どもの状況や家庭環境は入園後の保育に反映するため丁寧に聞き取って、入園面接記録に書いて、職員間で共有をして子どもの受入れ準備を行っている。</p> <p>慣れ保育は年齢や子どもの状況に応じているが、5日間を目途にしている</p> <p>入園児の慣れ保育については、0歳児、1・2歳児、幼児ごとに日程は異なるが「慣らし保育の日程表」に沿って保育をしている。保護者の勤務状況や、子どもの状況に応じて柔軟な対応をしているが、1日目に関しては厳守している。0、1、2歳児については1日目は10時半までの保育で、食事をとるのは3日目以降にして、子どもがストレスなく保育園の環境に馴染んでいるのか、職員に慣れているかなど観察をしている。大泣きをせず、水分補給が可能で食事も摂れるのであれば普通保育で保育可能と判断をしている。転園児はこれに限らない。</p>			

サブカテゴリ-3		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	12/12
3	個別状況の記録と計画策定		
<b>評価項目1</b> 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		<b>評点(〇〇〇)</b>	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している		○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている		○非該当
<b>評価項目2</b> 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		<b>評点(〇〇〇〇〇)</b>	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している		○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている		○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている		○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している		○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている		○非該当
<b>評価項目3</b> 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		<b>評点(〇〇)</b>	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある		○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している		○非該当
<b>評価項目4</b> 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		<b>評点(〇〇)</b>	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している		○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している		○非該当
<b>サブカテゴリ-3の講評</b>			
<b>全体的な計画に基づいてクラスごとに順次計画を作成している</b> 毎年2～3月にかけて全体的な計画を作成して、それを基にクラスの担当が年間計画を作成している。各クラスの子どもの発達状況や意向を把握して指導計画に反映させ、月ごとのねらいのもとに計画し、子どもの姿や遊びの変化などを把握して、評価・反省の上に次の月につなげている。週ごとに子どもの興味を発見して遊びにつながる予定を立てている。週ごとの遊びの重なりが月の計画となっている。玄関にクラスごとにその日の子どもたちの様子を書いて保護者に知らせている。日々の活動の様子は保護者にとって子どもの新たな発見にもなっている。 <b>子どもの様子はクラス日誌や乳児は連絡帳に記録をして定期的に児童票に記録をしている</b> 各クラスごとに子どもの様子はクラス日誌に記録している。乳児はそのほかに保護者と園との情報交換で複写式の連絡帳を使っている。家庭での様子、睡眠時間、健康状態、食事の状況、昼食の様子や排便状態など詳細に1日の生活の流れが分かるようになっている。乳児の保護者は子どもの様子を連絡帳を介して園と情報共有をしている。保育士は定期的に子どもの状況を児童票に記録する際に、日誌から子どもの成長や変化を振り返る機会になっている。現在は園だより、クラスだより、給食だより、保健だよりは保育業務支援システムで配信している。 <b>毎日の朝礼ノート、昼礼ノートで職員間は情報共有をしている</b> 常勤職員と同数近い非常勤・派遣職員がおり情報共有は徹底しておこなわれるように、朝礼、昼礼で情報交換をした内容をきちんと記録している。朝礼では当日の予定や休みの予定など短時間で終了しているが、14時からの昼礼で出席者数、活動の様子、共有したい内容をクラスごとに発表をして、園児、職員に関する報告、園長・副園長からの報告事項、翌日のわかっている範囲での予定など園全体がわかるような内容になっている。順番で議事録を取り、コピーを各クラス、調理、保健室に配布して職員全員が情報共有する仕組みがある。			

サブカテゴリ-5		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている		○非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている		○非該当
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている		○非該当
サブカテゴリ-5の講評			
<p>個人情報の取扱いに関しては、入園時に保護者に説明をして同意を得ている</p> <p>個人情報の扱いに関しては重要事項説明書と同時に保護者に説明をして、意向について「個人情報使用同意書」で把握している。特に身近な写真掲載使用については、館内掲示、地域への広報紙等、外部・メディア等への提供、と3つの選択肢にそれぞれチェックをしてもらって、子どもの写真提供に関しては明確な意思を確認している。また子どもの個人情報をやり取りする際には、例えば障害など配慮が必要な子どもについて関係機関と情報交換をする場合など、その都度保護者に説明をするように心がけている。</p> <p>会議で子どもの権利について話し合いがおこなわれており職員の意識向上となっている</p> <p>子どもの人権を常に意識して保育をするように、職員に「子どもの権利条約」を抜粋したものを渡してあり、いつでも確認できるように携帯している。職員会議でも子どもの権利条約と共に保育指針、法人作成の「子育て指針」を議題にすることは多い。子どもの権利条約に関しては外部講師を招いた研修会を実施して、その後グループワークをするなど職員の意識向上につとめている。それに関連して、子どもには権利を守ることに何気ない日常の保育の中で、例えば着脱時は男女を別にして、上着と下着は別々に着がえるなど統一した支援をしている。</p> <p>子ども、保護者の価値観を大切に、保育に反映させている</p> <p>地域性から園児の10%は外国人という構成になっておりそれぞれの保護者の価値観や生活習慣に配慮して保育をしている。特に食事に関しては宗教食や意向食の要望を取り入れて対応をしている。ベジタリアンやそれぞれの主義に基づいて使用しないで欲しいと依頼された食材についても聞き入れているが、給食提供が無理な場合は子どもは弁当を持参している。生活習慣に関しては子どもの発達や保育に影響を与えない場合は、個々の家庭の意向を尊重して対応している。</p>			

サブカテゴリ-6		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
6	事業所業務の標準化		
<b>評価項目1</b> 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		<b>評点(〇〇〇)</b>	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている		○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている		○非該当
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している		○非該当
<b>評価項目2</b> サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		<b>評点(〇〇)</b>	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている		○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている		○非該当
<b>サブカテゴリ-6の講評</b>			
<p><b>区及び園で作成したマニュアルを基本にして保育業務に携わっている</b></p> <p>区及び園で作成したマニュアルに沿って業務をすすめている。全体的な計画など、保育内容に関しては園長会で見直しをしている。園では膨大なマニュアルから利用頻度が多いと思われる項目を抜粋して、ハンドブックを作成する予定だという。職員にとって重要なマニュアル、「危機管理マニュアル」と事故・緊急事態発生したときの「緊急連絡体制」は事務所及び各クラスの目につく場所に掲示しており、職員の意識づけを図っている。またAEDの扱いや嘔吐処理については当番で実践訓練をして、必要時に対応できるスキルをつけている。</p> <p><b>全ての職員が「入園のしおり」を所持して、必要時に確認できるようにしている</b></p> <p>職員は「入園のしおり」を常時携帯をして内容について保護者からの質問に適切に回答できるようにしている。保育時間、スターライト保育、年末保育など保育の種類、給食の目標等を理解をし、また職員として守秘義務や個人情報などプライバシー保護に徹するなど資質向上につとめるツールの一つとしている。入園のしおりを熟知しておくことで、園の提供するサービス内容や用途に応じて提出する書類など職員として保護者に適切に対応できることで業務の標準化を図る取り組みになっている。</p> <p><b>毎年保護者アンケートを実施して、保護者からの意見や提案を保育に反映させている</b></p> <p>年1回保護者アンケートを実施して、保育環境、給食、怪我や病気の対応、行事等、保護者会・個人面談・保育参観などについて意向を確認している。回収率は51%程度であるが、保護者から意見や要望を聞ける機会になっている。例えば、保護者から子どもの体の使い方について提案があったことを受けて、講師を呼んで「子どもの体の使い方を学ぶ」研修をおこなった。子どもへの声掛けから始まり、どのように子どもがうまく体を動かすことがよいかを学んだ職員は、日頃の保育に反映させており、保護者からの意見や要望を大切にしている。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

		サブカテゴリー4	
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	35 / 35
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている			
		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している		○非該当
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○非該当
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○非該当
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		○非該当
評価項目1の講評			
<p>日々の送迎時の会話や連絡帳、園で活動する様子などで子どもの全体像を把握している</p> <p>日々の保護者との会話や連絡帳、個人面談などで、家庭での子どもの心身の状態を把握することに努めている。また、園での子どもの様子を連絡帳や保育日誌、指導計画、児童票などに記録し把握している。園と家庭の両面から子どもの全体的な姿を捉え、今後の育ちを見通しながら保育をしている。園は複合施設となっている旧小学校の1・2階と校庭を使用しており、子どもたちが主体的に生活し遊びを豊かに展開出来るよう保育環境を整えている。子どもが手にしやすいように絵本や玩具を棚に置き、階段の踊り場には子どもたちの作品を展示している。</p> <p>年齢や発達、文化の違いに関わらず子どもたちがお互いを尊重できるように援助している</p> <p>コロナ禍でクラスごとの保育を基本とし、朝夕の合同保育やクラス別保育の中で、月齢や年齢の違う子どもたちが自然に関わりを持って過ごしている。子どもたちは外見や言葉、習慣の違いなどを気にせず、関わり合いながら生活し遊んでいる。職員は保護者の「日本の言葉や文化を学ばせたい」という意向を尊重し、個別に配慮しながら援助している。配慮が必要な子どもには、区の定期的な巡回指導で助言を受け、職員間で共有し適切な支援に努めている。他の子どもとの関わりを大切に、子ども同士で個性の違いを認め合い共に育ち合えるよう援助している。</p> <p>小学校教育への円滑な接続に向け連携して取り組みたいと考えている</p> <p>コロナ禍前、5歳児は近隣の小学校から招待を受けて学校を案内してもらい、見学しながら小学校への期待や親しみが持てるようにしていたが、交流できない状況が続いている。5歳児は年明けから午睡をなくして一日過ごせるように、生活リズムを整えていきたいと考えている。活動が制限される状況であるが、近隣保育園の5歳児と交流し、11月には幼稚園の5歳児との交流を計画し、子どもたちは就学先でも出会うことを楽しみにしている。そのほか「保育所児童保育要録」を作成して就学先の小学校に提出し、円滑な接続に向けての援助を行っている。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目2の講評		
<p><b>登園、降園時に子どもの様子を連絡帳や口頭で保護者と伝え合っている</b></p> <p>登園時は玄関前で手を洗い、保育室前で受け入れをしている。検温は登園前に家庭で済ませてもらい、クラスの表に体温の記入をお願いしている。職員は子どもの顔色や機嫌などを観察し、0～2歳児は連絡帳で食事や睡眠時間などを確認し、口頭でも健康状態やけがの有無などを保護者に聞いている。早朝保育の様子や保護者からの伝達事項は伝達表に記載してクラスや事務室に伝え、昼礼などでもクラスの様子を職員間で共有している。降園時、0～2歳児は連絡帳、3～5歳児は活動の様子を記載したスケッチブックを玄関に置いて、保護者に伝えている。</p> <p><b>子どもの発達状態に応じて無理なく基本的な生活習慣が身につくよう援助している</b></p> <p>基本的な生活習慣を身につけることは、子どもの主体性を育むことにつながっている。食事や排泄、衣服の着脱、身の回りを清潔にすることなど、基本的な生活習慣の習得について、一人ひとりの発達や自分でやろうとする気持ちを大切に身につくよう援助している。0～2歳児は個別の指導計画で基本的な生活習慣に触れ、例えば1歳児は「手づかみや食具を使って落ち着いて食べる」や「オムツを交換してもらい心地よさを感じる」と記し取り組んでいる。2歳児は保護者会で食事や排泄などについて予想される1年間の姿を紹介し、保護者と共有している。</p> <p><b>個々の生活リズムを把握し必要な休息や睡眠が取れるようにしている</b></p> <p>入園のしおり「保育園の一日」のページに、休息や睡眠について年齢ごとの時間帯を記載して目安を伝えている。子どもの年齢や体調、生活リズムなどを考慮し、0歳児で低月齢や登園の早い子どもは午前寝や夕寝をするなど、十分な睡眠が取れるようにしている。また入眠時に、お気に入りのタオルなどを持って寝たい子どもはありのままを受け入れて個別に対応し、徐々に自分で切り替えができるよう見守っている。睡眠には個人差があることを考慮し、早く目覚めた子どもは横になって体を休めたり、絵本を見るなどして静かな遊びをして過ごしている。</p>		
3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(000000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目3の講評		
<p><b>子どもの自主性、自発性を尊重し生活や遊びが豊かに展開されるよう援助している</b></p> <p>0歳児は2つのグループに分かれて各保育室で少人数で生活し、応答的な関わりを持ち愛着を形成している。子どもの自主性自発性を尊重し、遊びたい場所で自分で玩具を選び遊べるように発達に合った玩具や教材を設定し、子どもの目線に配慮した環境整備を行い、各保育室は広い空間が確保されている。集団活動に主体的に関われるように個々の思いに寄り添い見守っている。集団遊びでゆるやかなルールから複雑な遊びへ発展する中で、ルールを守る大切さや自分の気持ちを調整する力を学び、子どもたちが主体となってルール作りをするようにしている。</p> <p><b>自分の気持ちを言葉で伝える力を養いさまざまな表現活動を楽しんでいる</b></p> <p>職員は否定語、禁止語、指示語ではなく、子どもの状況に合わせた言葉がけや共感する言葉がけに努めている。絵本の読み聞かせを保育に多く取り入れ、2歳児は毎月のクラスだよりで、おすすめ絵本を紹介している。子どもたちはリズムカルな言葉の繰り返しや動物が登場するお話を喜び、ごっこ遊びや劇遊びで言葉のやりとりを楽しみ、経験したことを話すなどして言葉の感覚を養っている。ギターに合わせて歌をうたったり、音楽に合わせて体操や表現遊びをしたり、運動遊び、合奏、製作など、さまざまな体験を通して好奇心や探求心を高めている。</p> <p><b>散歩や園庭の自然環境で草花や野菜、虫、鳥などを通して四季を感じている</b></p> <p>近隣には自然豊かな公園や広場があり、子どものリクエストに応えながら散歩先を選んで出かけ、季節の移り変わりを感じている。春には桜の花見や虫探しをし、4歳児は斜面を滑り降りて遊び、木陰を通ると「今春なのにここ秋みたい」などのつぶやきが聞かれ、感性豊かに散歩を楽しんでいる。秋には蝉の抜け殻を見つかったり木の実や紅葉した葉っぱなどを拾って遊び、広場で思い切り走って心地よい風を感じ、四季の草花や木々の様子、空の色や雲の形を見たり触れながら遊び五感を刺激している。夏には水遊びやプール遊びをして水に親しんでいる。</p>		

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>子どもたちが興味や関心を持ってさまざまな行事を楽しめるよう工夫している</p> <p>5歳児を中心に子どもたちと行事の内容を考え、準備や活動後の余韻も楽しみ、5歳児へのあこがれが持てるように援助している。子どもの日や七夕祭り、節分など季節の伝承行事や運動会、遠足などを実施し、行事にちなんだ歌や製作物で雰囲気を楽しみ、子どもの活動に変化と潤いを持たせ、製作物は持ち帰り家庭へとつないでいる。0～2歳児の誕生会は子どもの誕生日にお祝いし、3～5歳児は集会でインタビューを受け手作りのカードをもらったり歌をうたって祝ってもらい、誕生児は見える位置に誕生日シールを貼って特別な一日を味わっている。</p> <p>5歳児が友だちと協力して行事に取り組み達成感が味わえるように援助している</p> <p>5歳児は週末にミーティングを行い次週の活動を話し合い決めている。毎月「花育」に取り組み、花の名前や色彩などに関心を持ち生きている。行事は子どもの発想を広げていくことを大切にし、5歳児が主体となって取り組み、試行錯誤しながら協力し合ってかかしを作り地域の行事で飾っている。活動を展開する楽しさや共通の目的に向かい達成感が感じられるよう援助し、運動会で5歳児恒例のソーラン節を揃いの衣装を身につけて踊り、達成感を味わっている。また、貸し切りバスで自然豊かな森に出かけて山歩きや焚火を体験し、新たな発見をしている。</p> <p>保護者に年間行事の予定表を配付し理解と協力が得られるようにしている</p> <p>年度初めに年間行事の予定表を配付し、毎月の園だよりにも行事予定を記載して保護者の理解と協力が得られるようにしている。保護者会や運動会は土曜日に実施し、参加しやすいように配慮している。今年度の祖父母を招いての「敬老の会」は取りやめている。子どもたちだけで取り組んでいる誕生会などの行事は取り組みの様子をお便りやクラスだよりで伝え、終了時には写真やコメントでドキュメンテーションを作成し、掲示して知らせている。行事後は保護者にアンケートや口頭で感想などを聞き、次年度に生かすようにしている。</p>		
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>22時までの延長保育は1階の保育室で行い職員は子どもの好きな遊びに寄り添っている</p> <p>夕方は18時16分～20時15分までと20時16分～22時までの保育を実施し定員34名としている。満1歳の誕生日を迎えた子ども(完了食)を対象として1時間利用には補食を、それ以上の利用には夕食を提供している。玄関に近い1歳児室で0～5歳児が合同で過ごし、0～2歳児は延長保育時までクラスごとに過ごし、3～5歳児は17時30分から一緒に過ごしている。利用する子どもたちは移動を繰り返すことで見通しを持ち不安なく行動している。好きな玩具で遊べるよう場所や玩具を整え、甘えてくる子どもを温かく受け止め寄り添っている。</p> <p>長時間保育で子どもたちがゆったりと落ち着いて過ごせるように配慮している</p> <p>朝は7時15分～8時まで合同で過ごし、8時から0～2歳児と3～5歳児が分かれ、8時30分からクラスごとに過ごしている。職員はシフトを組み分担して保育を行い、子どもたちは保育室や担任に慣れて、日中部屋から移動して遊ぶこともあり、担任以外の職員と関わりを持つ日も増えている。一日を通して子どもの状態や配慮すること、送迎時間の変更などを伝達表に記載して引継ぎ、職員間で確認し対応している。日々の利用人数が各年齢で多いので、子どもがゆったりとくつろいで過ごせるよう、年齢や人数で部屋を分けて遊ぶ工夫も行い配慮している。</p>		

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(0000)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当	
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当	
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当	
評価項目6の講評			
<p>子どもが楽しんで食事ができるような環境作りを心がけている</p> <p>区統一献立を基に、旬の食材を使用しバランスのとれた季節感ある給食を提供している。出汁はかつお節などで取り、食材の味を大切に薄味に調理している。誕生会メニューは子どもたちの希望を聞いて提供しよう変更し、3月には5歳児のリクエストメニューに応えることにしている。子どもの日には鯉のぼりをかたどったご飯や七夕には七夕ソーメン、ハロウィンにはお化けの顔を描いたケーキなど、食べる楽しさを味わえるようにしている。献立に夏野菜カレーの日を設け、3～5歳児は混合の3グループでいつもと違う雰囲気の中楽しんで食べている。</p> <p>離乳食や食物アレルギーなどで配慮が必要な子どもの食事に気を配っている</p> <p>子どもの成長発達に合わせて数段階の離乳食形態を提供している。初めて食べる食材は家庭で数回試してもらい、何事もないことを確認して食材チェック表で共有し、園で提供している。冷凍母乳の希望を受け入れ、月齢や体調を考慮し保護者と相談しながら離乳食形態を進めている。食物アレルギーのある子どもには医師の診断を受けて生活管理指導表を提出してもらい、保護者とアレルギー食材を確認している。配膳時は専用のトレイや食器を使用し、二重に確認して提供している。保護者の意向を受け入れ、牛乳を飲ませないなどの意向食対応をしている。</p> <p>野菜の栽培やクッキングなどを通して食への興味・関心を高めている</p> <p>栄養士と保育士が連携して毎月さまざまな食育活動を行っている。子どもたちは野菜や魚の話、フォークや箸の使い方、三つの味についての話などを聞いたり、りんごの皮むきやジャムづくり、さつま芋調理などを見学している。3～5歳児はプランターでピーマンやオクラ、なす、トマト、とうもろこしなどを栽培して収穫し、5歳児は野菜を皮むきし夏野菜カレーを作っている。また、おにぎりクッキングをしたりおやつ時に自分の五平餅やおやきを作っている。5歳児は食事時に今日の食材を三色食品群の赤・黄・緑の表に種別して学び、関心を高めている。</p>			
7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(000)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当	
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当	
評価項目7の講評			
<p>保健年間計画に基づき手洗いや水分補給などの健康教育を行っている</p> <p>看護師は保健年間計画に基づき、保育士と共に健康教育を行っている。手洗いやうがい、歯みがき、熱中症、皮膚の衛生管理、鼻のかみ方などの衛生指導を子どもたちに分かるように伝えている。手洗い場には年齢により台を設置して無理のない姿勢で手洗いが出来るよう工夫し、健康で安全な生活ができるように援助している。散歩時は歩道の歩き方や信号の見方などの交通ルール、公園などでの安全な遊び方について話しをしている。戸外で体を十分に動かして遊んだり長い距離を歩くなど、遊びの中で体力をつけ、自分を守る動作ができるよう援助している。</p> <p>子どもの健康状態を定期的に把握し保護者と連携して健康管理をしている</p> <p>看護師はクラスを巡回して子どもの健康状態を観察し病気の早期発見に努めている。嘱託医の健康診断を0歳児は月2回、1・2歳児は月1回、3～5歳児は年2回、歯科検診を全園児年2回実施し、予備日を設けて未受診がないよう配慮している。その他身体測定を毎月行い、尿検査を3～5歳児が年1回、視力検査を4・5歳児が年1回実施し、健康診断や歯科検診、身体測定の結果は、健康カードに記入して保護者に伝えている。熱性けいれんやアトピー性皮膚炎など個別対応を必要とする子どもには、保護者の相談を受けてやりとりし、ケアに努めている。</p> <p>感染症などの保健に関する情報を保護者に伝え予防と拡大防止に努めている</p> <p>感染症や与薬、乳幼児突然死症候群に関する情報は「入園のしおり」に記載し周知している。職員は手洗いや検温、マスクを着用し、看護師を中心に室内や玩具・遊具の消毒、手すりやドアノブなどの消毒を徹底し、換気に努めている。自治体からの保健に関する情報は玄関や2階の掲示板に掲示して伝えている。園内で感染症が発生した時は掲示や口頭で伝え、保護者に注意喚起している。乳幼児突然死症候群の予防として、0歳児は5分、1・2歳児は10分ごとに呼吸や姿勢を確認して記録し、3～5歳児は観察して見守っている。</p>			

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当	
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当	
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当	
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当	
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当	
評価項目8の講評			
<p><b>保護者が安心して子育てができるよう個々の事情を考慮し支援している</b></p> <p>入園時に保護者と面談し、保護者の就労状況や子育てに対する思いなどを把握している。入園後も登降園時に話す機会を多く設けてやりとりし、家庭の最新の状況を把握して、送迎時間の変更や延長保育、土曜日保育の申し出に対応している。保護者の個別の疑問や相談にも速やかに応じて、子育ての悩みなどを聞くようにしている。職員は日頃から挨拶を交わして態度や言葉遣いに気をつけ、信頼関係を築くことに努めている。全園児の情報は職員会議などで共有し、保育理念のもと保護者が安心して就労や子育てができるよう支援している。</p> <p><b>保護者会や行事などの機会を通して保護者同士が交流できるようにしている</b></p> <p>昨年度は保護者会や保育参観、0～2歳児の親子遠足など、多くの行事を中止したり変更している。今年度は年度初めの保護者会を4月の土曜日に開催し、時間差をつけて乳児、幼児に分けて短時間で行っている。年齢ごとに見られる特徴などを記載した資料を配付して説明し、成長発達を共有できるようにしている。話をする中で初めて子育てする保護者は他の保護者も同じ悩みがあることに気づき、子育ての幅を広げている。4・5歳児の保護者は運動会でリレーなどの子どもの活動を参観し、成長を感じて喜び合い、保護者同士のつながりを深めている。</p> <p><b>保育参観や参加、行事などで子どもの成長を理解してもらい共通認識を高めている</b></p> <p>日々の連絡帳や活動報告、会話を通じて、保護者と子どもの発達や育児などへの共通認識が得られるように努めている。また、クラスだよりに月のねらいや生活・遊びの様子を写真や文章で記載し、子どもの姿を紹介している。保育参観や参加はクラスごとに行い、希望日を予定表に記入してもらい密にならないよう必要に応じて調整し、実施している。訪問調査時は0・1歳児の保育参観期間中で、テラスの目隠し窓から見てもらい、子どもと他の子ども・保育者との関わり、行動などを理解し、心身の発達について家庭と園で共通の認識が持てるようにしている。</p>			
9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当	
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当	
評価項目9の講評			
<p><b>子どもたちは地域の様々な行事に参加し地域の人たちとのつながりを深めている</b></p> <p>園は旧小学校を活用した複合施設内にあり、地域の方の思い(大切な場所)を受け止め、園庭にある地域の方の野菜畑を見学したり、防災の総合訓練に参加している。例年春は神社の山車引き、夏には園庭での地域のお祭り、秋にはかかし祭りなどが行われ、子どもたちは一年中さまざまな地域の行事に参加し、顔なじみの関係を築いている。コロナ禍で地域の行事も中止が続いていたが、今年度かかし祭りでかかしを展示することになり、開設以来継続して出展している。園は地域とのつながりが子どもたちを豊かに育てていると感じ、関わりを継続している。</p> <p><b>休日保育や年末保育など多様な保育サービスを行い地域の子育てを支援している</b></p> <p>園は午後10時までの保育や休日保育、年末保育(29・30日)など多様な保育サービスを実施し、多くの地域の保育園児が利用している。また、地域の子育て支援「保育園で遊ぼう」事業や一時保育を実施したり、園庭開放を週に2日行い、園庭を持たない園の子どもたちや地域の子育て親子が遊べるようにしている。土曜日には「育児何でも相談デー」を開催し、専門知識を持つ保護者の協力を得て子育てについて話していたが休止している。その他、地域の方の読み聞かせや音楽サークルの方に演奏してもらうなどを行っていたが取りやめている。</p>			

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	3-3-2	地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている
タイトル①	在園児にはスターライト保育、区内の子育て家庭の支援に特別事業を行っている	
内容①	当園においては在園児には保護者の勤務の状況を考慮して延長保育とスターライト保育に対応し、最長午後10時まで預かることができるよう(昨年度実績で約140人の利用実績)体制を整えている。また、地域の子育て家庭の支援のため、休日保育を実施して、休日に保育を必要とする子どもを預かっている(昨年度実績で255人延べが利用)。このように当園は、公立の指定園としての役割を發揮する事によって、港区における子育て支援体制を担い、区民サービスを提供している。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-9	地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている
タイトル②	子どもたちは地域の行事に参加して交流し地域の人たちとのつながりを深めている	
内容②	園は旧小学校を活用した複合施設内にあり、地域の方の思い(大切な場所)を受け止め、園庭の地域の方の野菜畑で枝豆の収穫を手伝ったり、防災総合訓練に参加している。例年地域では、春は神社の山車引き、夏には園庭での地域のお祭り、秋にはかかし祭りなどが行われ、子どもたちは様々な行事に参加して楽しみ、顔なじみの関係を築いている。コロナ禍で地域の行事も中止が続いていたが、今年度かかし祭りでかかしを展示することになり、何年も継続して出展している。園は地域とのつながりが子どもたちを豊かに育てていると感じ、交流を継続している。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-6-1	手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている
タイトル③	業務の一定水準を確保するため、職員は「入園のしおり」を持ちいつでも確認している	
内容③	園では、職員に「入園のしおり」を渡して、内容を熟知、確認するようにしている。「入園のしおり」は入園時に保護者に配布しており園のサービスについて網羅されている。職員にとっても子どもの人権研修を通じた資質向上や個人情報情報の適切な扱い、プライバシー保護の徹底など職員として習得しておくべきな事柄が明記もされている。保育サービス全体を知り、提供しているものが子どもや保護者のためになっているか振り返りながら、保護者からの質問にも適切に対応ができ、職員として資質向上を図り、業務の一定水準を確保しておくものになっている。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	区立保育園を運営する上での、サービス品質を向上させるため、法人本部が作成した検査項目に従って社内相互監査を行っている
	内容	当園は福祉サービス業務を行う事業所として、法・規範・倫理を守るための取り組みを行っている。これらの実施状況は監督官庁からの監査を受けている。監査を受けるに当たって、運営の適合性を自主的に判断するために、港区における指定管理者制度の下での「労働環境モニタリング」を実施して、サービスを提供するための指標を確認し、整備している。また、法人内の他の事業者による相互監査を行い、法人本部の主導で法人内監査を行いサービス品質の確保をねらっている。
2	タイトル	行事食を工夫して食べる楽しさを味わい、野菜を栽培したりクッキング活動などを通して「食」への興味や関心を高めている
	内容	季節の伝承行事や誕生会の献立を工夫し、毎月様々な食育活動を行っている。子どもたちは野菜や魚の話、フォークや箸の使い方などについての話を聞いたり、りんごの皮むきやジャムづくり、さつま芋調理などを見学している。3～5歳児はピーマンやオクラ、なす、トマトなどを栽培して収穫し、夏野菜カレーを作り3つの混合グループでいつもと違う雰囲気を楽しみ食べている。また、おにぎりづくりやおやつ時に自分の五平餅やおやきを作っている。5歳児は食事時に今日の食材を三色食品群の赤・黄・緑の表に種別して学び、食への興味関心を高めている。
3	タイトル	職員会議を利用して、外部講師を招いた子どもの権利条約の研修をとり入れるなど職員の資質向上に取り組んでいる
	内容	職員会議では年間を通した計画があり職員が意見を出しあえる場になっている。園では児童福祉法、児童憲章を意識して保育を行っている。職員の意識づけ、意識啓発もかねて「子どもの権利条約」の抜粋を職員に配付しており、子どもの権利についての学習も定期的に行っている。また専門講師を招いて子どもの権利条約に関する研修を実施したり、グループワークを行っている。外部の研修にも参加をして、園内で報告をしてもらうなど子どもの権利に関しての取り組みから様々な場面で子どもの意向を尊重する保育を心がけている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	子どもの成長については月の計画に合わせて週ごとの計画があり、保護者が子どもの日々の準備ができるように情報提供することが望まれる
	内容	園の全体の計画は毎年保護者に配付をしている。クラスごとに月の指導計画を立てそれに沿って週案を作成して、子どもの発達に寄り添った計画に基づいて保育を行っている。子どもの発達の状況を見て週ごとの遊びの計画を立てており、クラスごとに毎週掲示して保護者が予定を立てたり心がまえをする基になるものである。例えば散歩に出る日は遅れないように登園をしよう、など情報提供をすることで保護者も見通しを立てることができる。毎日の出来事をクラスごとに玄関に掲示して報告しているように、週の予定も掲示して情報提供することが望まれる。
2	タイトル	保育に従事する人材の確保が困難な状況の中で、法人全体でその取り組みを実施することを期待する
	内容	当園で保育に従事する職員は多世代が働く多様な人材の力が発揮できるよう、法人内の様々な事業と連携して、子ども主体の保育を目指している。しかしながら、職員自己評価から「人材の確保・不足」や「離職が多い・出入りが多い」などの意見が多々見られている。職員の目指す目標は高いため、それを実現するための体制を充実する必要性という視点で捉えているものと考えられる。従って、園の管理層は法人本部と一体になって更なる人材の確保に向けた取り組みを期待する。
3	タイトル	保護者と文章や写真を共有し、子どもの様子や活動の雰囲気をより詳細に伝える保育活動記録の見える化をさらに進めることに期待したい
	内容	子どもたちが毎日の活動を楽しみ過ごした様子は連絡帳やスケッチブックに記載し、活動の写真をクラスだより等で紹介している。保護者会や保育参観でも子どもの様子を伝え、情報共有に努めている。利用者調査で保護者から、職員により保育内容の説明の度合いが違う、お部屋の外からでよいので見学したいが言いづらい雰囲気がある等の意見が寄せられている。コロナ禍で様々な対応が求められる中、写真などを活用した情報の伝え方やホームページの活用など、子どもの成長や保育者の思いをより詳細に伝え、保護者の理解が深められることを期待する。